

株式会社トプコン 2025年3月期第2四半期説明会

代表取締役社長 CEO
江藤 隆志

2024年10月30日



2025年3月期第2四半期説明会 決算ハイライト



● FY24上期実績

連結

売上高 **1,055億円**
前年同期比 +1%

営業利益 **30億円**
前年同期比 ▲22%

売上高は前年並みも、減益

ポジショニング事業

前年同期比

売上高 

営業利益 

農機市場減速の影響で減収、**構造改革による固定費削減は計画通り**も減益

アイケア事業

前年同期比

売上高 

営業利益 

売上堅調で、成長投資にかかる費用増も**増益**

● FY24通期見通し

連結

新公表値

売上高 **2,200億円**
前年度比 +2%

営業利益 **120億円**
前年度比 +7%

ポジショニング事業

前年度比

売上高 

営業利益 

IT農業の販売減も、**構造改革により増益を見込む**

アイケア事業

前年度比

売上高 

営業利益 

期初計画から変更なし
売上高・営業利益ともに過去最高見込む

01 FY24 第2四半期決算報告

- 連結決算
- 事業別の状況 | ポジショニング事業
- 事業別の状況 | アイケア事業

02 FY24 通期見通し

- 連結見通し
- 事業別の見通し | ポジショニング事業
- 事業別の見通し | アイケア事業

03 トピックス

- ポジショニング事業 | 構造改革の進捗
- ポジショニング事業 | IT農業市場向け戦略製品を発売
- アイケア事業 | “Healthcare from the Eye”の推進

04 まとめ

- FY2024 第2四半期決算発表のまとめ

05 参考資料

- 業績推移
- 地域別売上高
- 設備投資・減価償却費・研究開発費 / 為替感応度
- 統合報告書「TOPCON REPORT 2024」を発行

FY24 第2四半期決算報告

01

- 連結決算
- 事業別の状況 | ポジショニング事業
- 事業別の状況 | アイケア事業

01 | FY24 第2四半期決算報告

連結決算

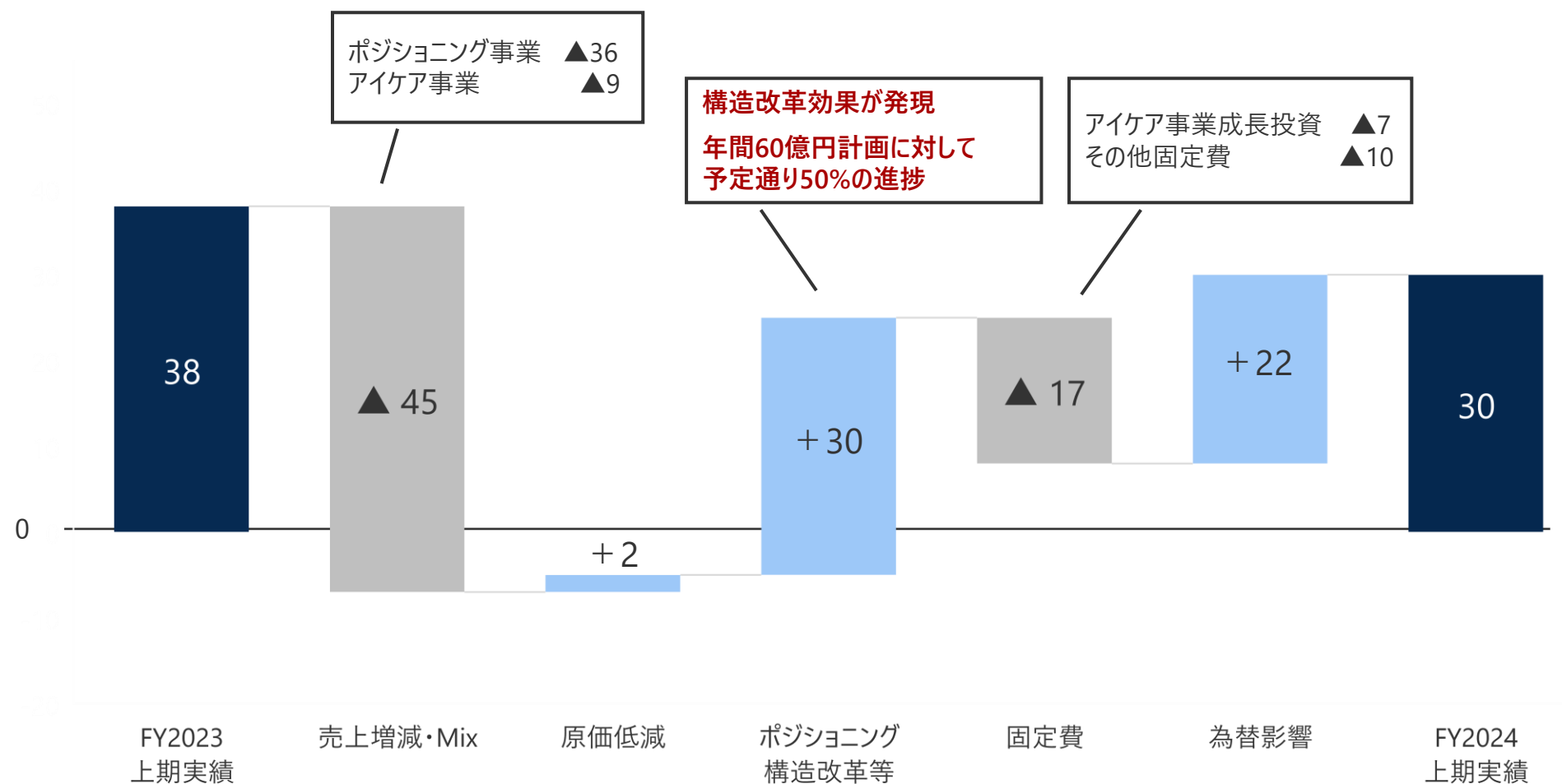


(単位：億円)		FY2023 上期実績	FY2024 上期実績	前年同期比	%	
売上高		1,045	1,055	+10	+1%	為替効果を除く 前年同期比 ▲54億円 (▲5%)
売上総利益		550	560	+10	+2%	
売上総利益率		52.6%	53.1%	+0.5pt		
販管費		512	531	+19	+4%	為替効果を除く 前年同期比 ▲14億円 (▲3%)
営業利益		38	30	▲8	▲22%	
営業利益率		3.7%	2.8%	▲0.8pt		
経常利益		34	4	▲30	▲89%	
特別損益		▲14	-	+14	-	
中間純利益		6	1	▲5	▲90%	
為替換算レート (期中平均)	USD	141.31円	152.30円	+10.99円		
	EUR	153.51円	165.46円	+11.95円		

連結決算 | 上期増減益分析 (営業利益の前年同期比較)



(単位：億円)



事業別の状況 | ポジショニング事業



- 農機市場減速の影響で減収、**構造改革による固定費削減は計画通りも減益**

(単位：億円)		FY2023 上期実績	FY2024 上期実績	前年同期比	%
売上高		696	682	▲14	▲2%
営業利益		49	41	▲8	▲17%
営業利益率		7.0%	6.0%	▲1.0pt	
為替換算レート (期中平均)	USD	141.31円	152.30円	+10.99円	
	EUR	153.51円	165.46円	+11.95円	

為替効果を除く
前年同期比

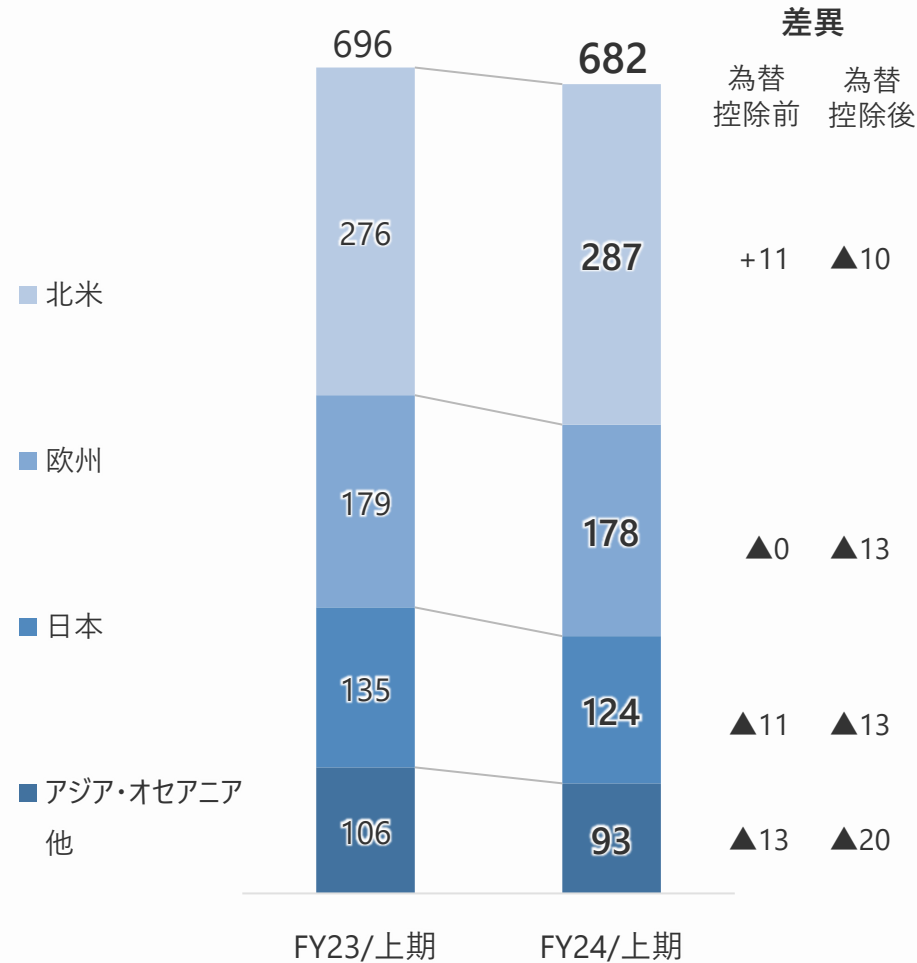
売上高▲56億円 (▲8%)

事業別の状況 | ポジショニング事業 | 地域別



(単位：億円)

地域別売上高



北米

- ✓ ICT施工は、市中有在庫の安定化やインフラ需要等により**アフターマーケット**（※）**中心に販売回復基調**
- ✓ IT農業は、穀物価格下落による投資抑制の影響が継続

欧州

- ✓ IT農業は、穀物価格下落による投資抑制の影響が継続

日本

- ✓ ICT施工は、**杭ナビショベル中心に堅調**
- ✓ 測量機は、新製品発売遅延と市中有在庫調整影響で販売減少

アジア・オセアニア

- ✓ アジアは、中国の測量機が販売減少
- ✓ オセアニアでICT施工と測量機・レーザーが販売減少

※ アフターマーケット：ICT施工・IT農業の後付けシステムの販売

01 | FY24 第2四半期決算報告

事業別の状況 | アイケア事業



- 売上堅調で、成長投資にかかる費用増も増益

(単位：億円)		FY2023 上期実績	FY2024 上期実績	前年同期比	%
売上高		345	371	+27	+8%
営業利益		13	14	+1	+9%
営業利益率		3.7%	3.7%	0pt	
為替換算レート (期中平均)	USD	141.31円	152.30円	+10.99円	
	EUR	153.51円	165.46円	+11.95円	

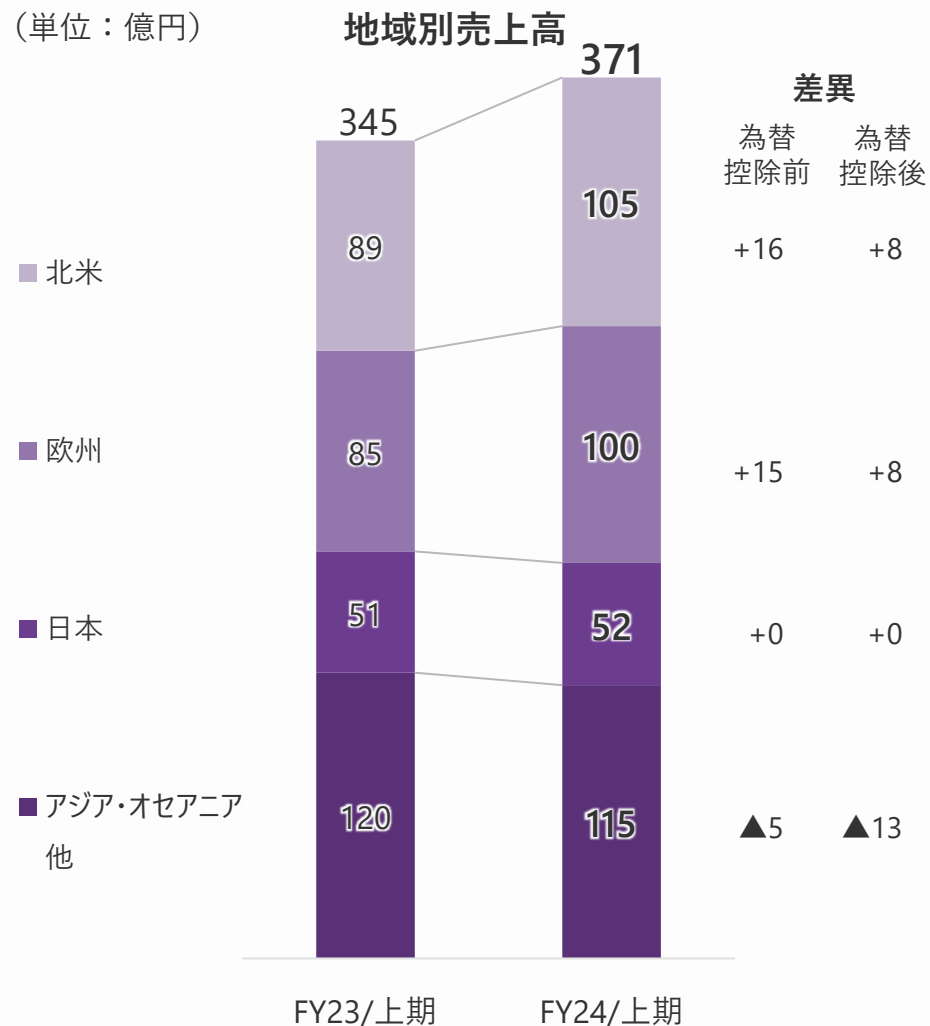
為替効果を除く
前年同期比

売上高+4億円 (+1%)

事業別の状況 | アイケア事業 | 地域別



(単位：億円)



北米

- ✓ 大手眼鏡チェーン店向け中心に堅調な販売が継続
- ✓ 北米経営陣を刷新し直販体制を構築、眼科医向けビジネスを強化

欧州

- ✓ 地域差はあるも、大手眼鏡チェーン店向けを含め堅調な販売が継続
- ✓ 眼底カメラは大型入札獲得など販売好調

アジア・オセアニア

- ✓ 中国は、保険償還遅延・削減による病院経営悪化、腐敗防止による入札減少影響で販売大幅減
- ✓ 中国を除くインドなどアジア地域は、継続的な入札案件の獲得等により販売増

FY24 通期見通し

02

- 連結見通し
- 事業別の見通し | ポジショニング事業
- 事業別の見通し | アイケア事業



● 下方修正：ポジショニング事業は回復に遅れ。アイケア事業は期初想定から変更なし

修正理由

- ✓IT農業は穀物価格下落により欧米の市況改善が望めず
- ✓測量機は新製品発売遅延と国内の上期在庫調整が影響
- ✓構造改革は計画どおり進捗

対策（下期注力事項）

- ✓IT農業の戦略的新製品投入と欧米販売網強化で需要創出
- ✓Q3以降、測量機新製品 4機種を順次リリース予定
- ✓売上減に合わせて費用抑制を強化

新公表値

(単位：億円)		旧公表値 (7/30)	新公表値 (10/30)	旧公表値比	FY2023 通期実績
売上高		2,300	2,200	▲100	2,165
営業利益		180	120	▲60	112
経常利益		155	80	▲75	89
純利益		95	45	▲50	49
ROE		9%	4%	-5pt	5%
配当		42円	42円	0	42円
配当性向		47%	98%	+51pt	90%
為替換算レート (期中平均)					
USD		145.00円	145.00円		144.40円
EUR		155.00円	155.00円		156.80円

Q2以降前提レート

Q3以降前提レート

連結見通し | 事業別売上高の状況



- 測量機・レーザー機器、IT農業を中心に期初見通しを変更

➡ 前年同期比（前年度比）プラス

➡ 前年同期（前年度）並み

➡ 前年同期比（前年度比）マイナス

赤枠

 期初見通しからの変更点

参考：期初見通し

セグメント	ソリューション	主要なマーケット※2	FY2023		FY2024	
			上期	下期	上期	下期(見通し)
ポジショニング事業	測量機・レーザー機器	測量・建設	➡	➡	➡	➡
	ICT施工※1	OEM	➡	➡	➡	➡
		アフターマーケット	➡	➡	➡	➡
	IT農業※1	OEM	➡	➡	➡	➡
		アフターマーケット	➡	➡	➡	➡
アイケア事業	検眼・診断機器	医療機関/ 大手眼鏡チェーン店/ドラッグストア	➡	➡	➡	➡
	スクリーニング・ その他サービス	医療機関/ 大手眼鏡チェーン店/ドラッグストア	➡	➡	➡	➡

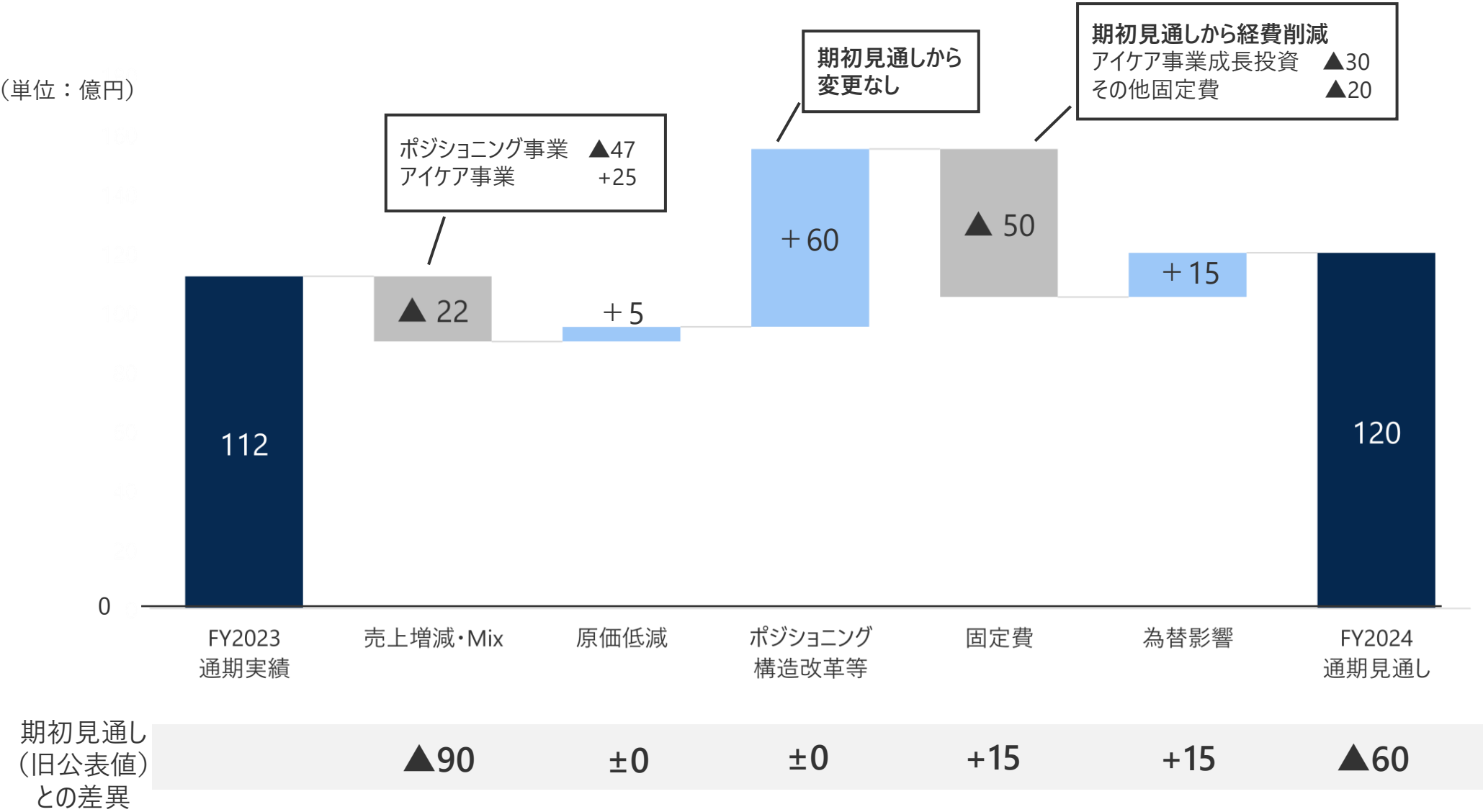
FY2024	
上期	下期
➡	➡
➡	➡
➡	➡
➡	➡
➡	➡
➡	➡
➡	➡
➡	➡

※1 ドル建てベースで比較

※2 OEM：建設機械メーカー、農業機械メーカーに販売
アフターマーケット：ICT施工・IT農業の後付け販売



連結見通し | 増減益分析 (営業利益の前年度比較)





事業別の見通し | ポジショニング事業

- 農機市場減速が想定以上で、売上高・営業利益計画を下方修正
- **構造改革により増益**を見込む

(単位：億円)		旧公表値 (7/30)	新公表値 (10/30)	旧公表値比	FY2023 通期実績
売上高		1,470	1,370	▲100	1,404
営業利益		165	100	▲65	91
営業利益率		11.2%	7.3%	▲3.9pt	6.5%
為替換算レート (期中平均)	USD	145.00円	145.00円		144.40円
	EUR	155.00円	155.00円		156.80円

Q2以降前提レート

Q3以降前提レート

事業別の見通し | アイケア事業



- 期初計画から変更なし
- 売上高・営業利益ともに過去最高を見込む

(単位：億円)		旧公表値 (7/30)	新公表値 (10/30)	旧公表値比	FY2023 通期実績
売上高		820	820	-	752
営業利益		75	75	-	67
営業利益率		9.1%	9.1%	-	8.9%
為替換算レート (期中平均)	USD	145.00円	145.00円		144.40円
	EUR	155.00円	155.00円		156.80円

Q2以降前提レート

Q3以降前提レート

トピックス

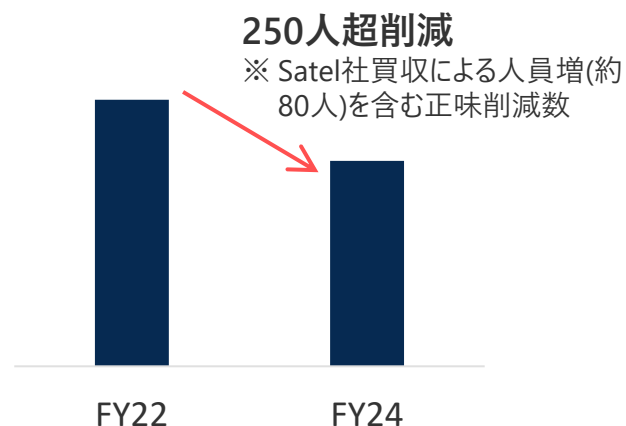
03

- ポジショニング事業 | 構造改革の進捗
- ポジショニング事業 | IT農業市場向け戦略製品を発売
- アイケア事業 | “Healthcare from the Eye”の推進



● 欧米における組織体制の適正化

✓ 欧米中心に人員適正化が一巡



✓ 新CEO就任 (2024年9月～)、引き続き構造改革に注力

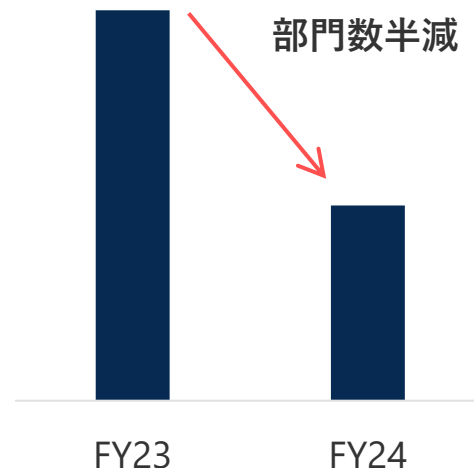


イヴァン・デ・フェデリコ
(トプコンポジショニングシステムズ社長)

2005年に当社入社以来、前CEOのレイ・オコーナーと共に戦略やイノベーションの面からポジショニングビジネスの成長を推進

● 国内アジアの組織スリム化

✓ 販売体制見直しによる階層構造解消



● 製品企画・開発組織改革による新製品投入の加速

✓ 国内企画・開発マネジメント体制強化の効果が発現

FY24 Q2以降の新製品投入計画





ポジショニング事業 | IT農業市場向け戦略製品を発売

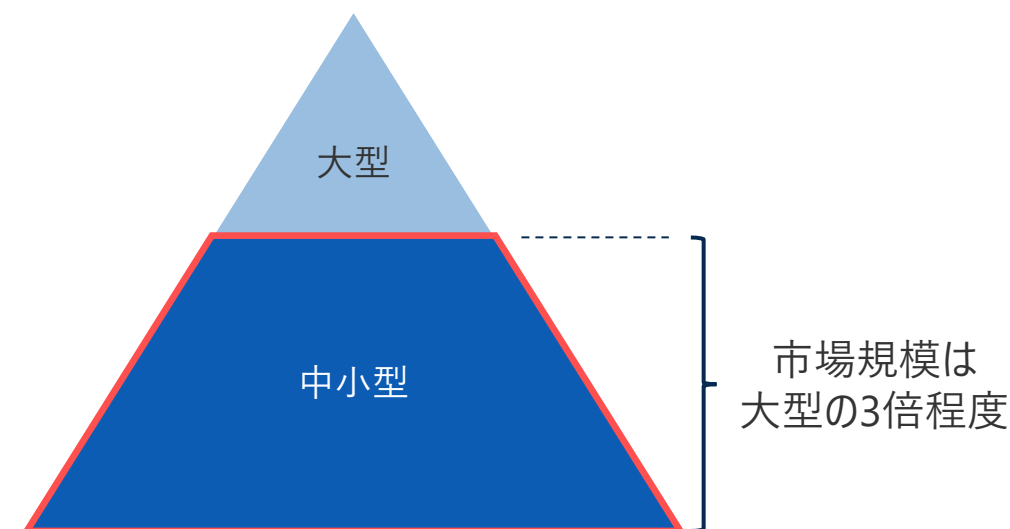
- 中小型農機向けに、廉価型オートステアリングシステムを市場投入
- アフターマーケットを足掛かりに、中小型トラクター市場を攻略、OEM展開を視野に販売強化

自動操舵システム：Value Lineモデル



農業用トラクターの市場規模※

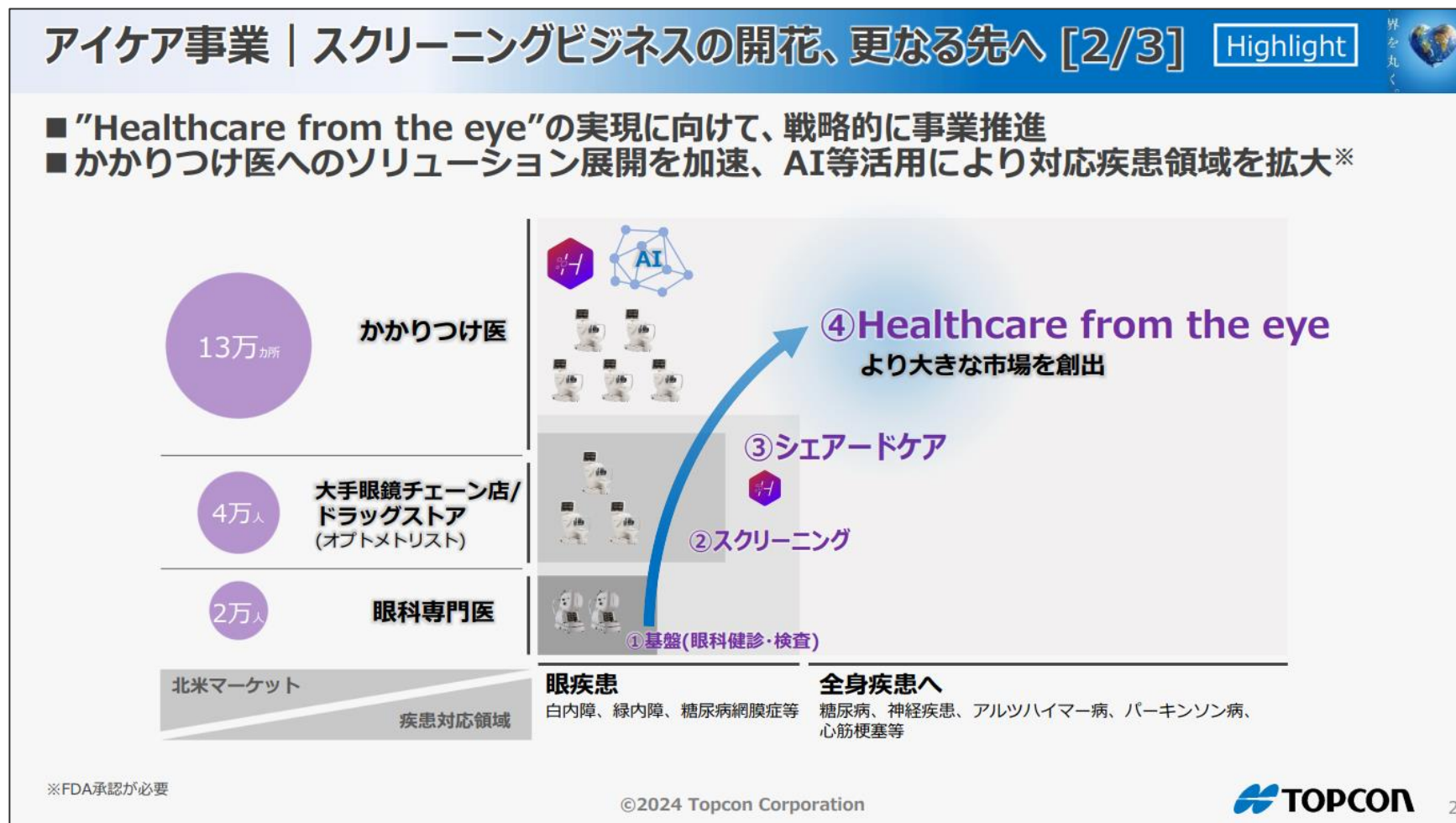
主要市場（欧米）：約50万台/年



※ 2023年時点の市場規模（当社調べ：エンジンパワー 75kW～を大型、エンジンパワー ～75kWを中小型と定義）



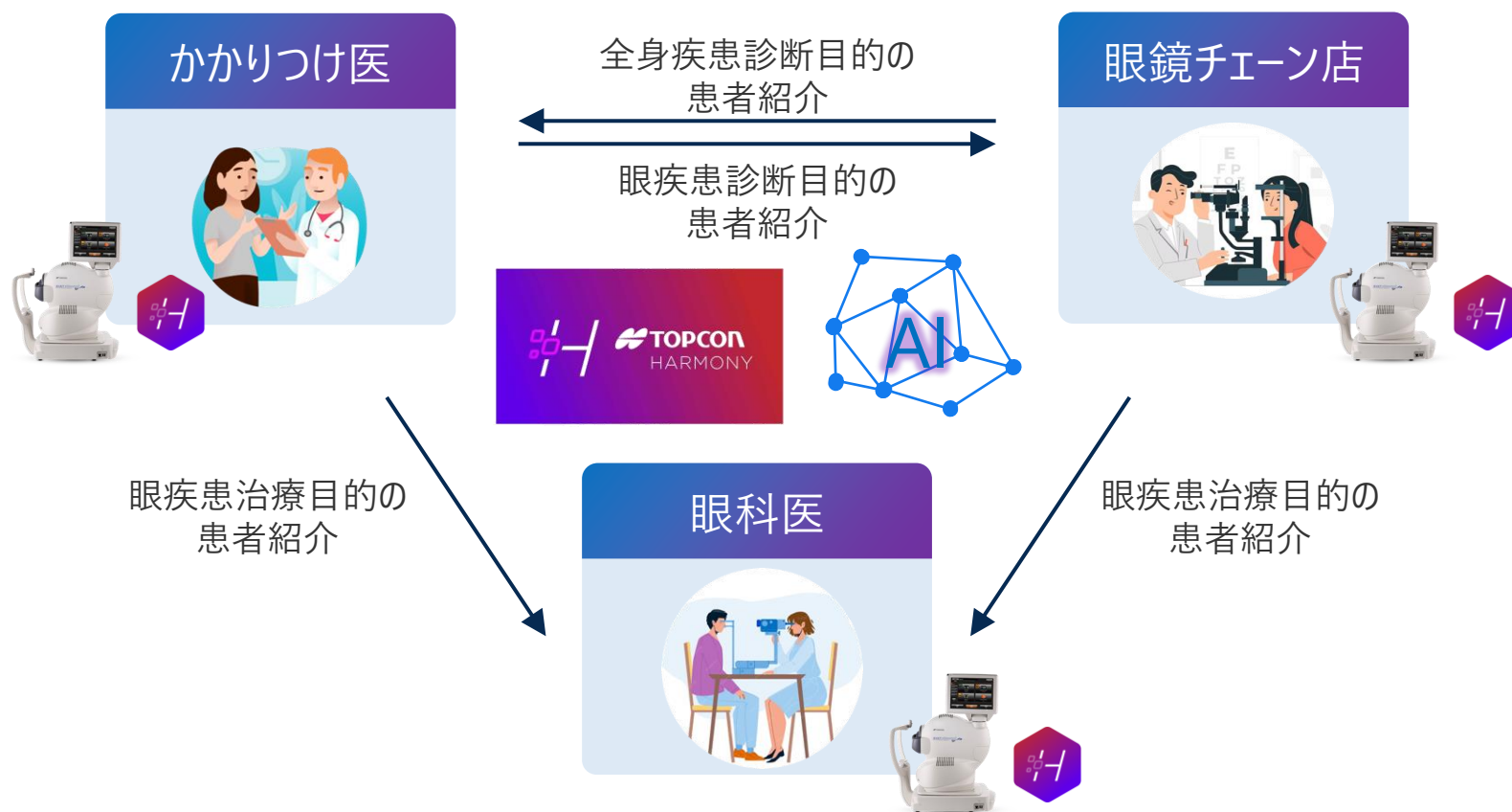
● “Healthcare from the Eye”の実現に向けて





アイケア事業 | “Healthcare from the Eye”の推進 (1/3)

- かかりつけ医・眼鏡チェーン店・眼科医におけるスクリーニング・エコシステムによって、全身疾患を早期発見
- AI診断により専門医でなくても健診可能。かかりつけ医・眼鏡チェーン店・眼科医の3者で、メリット享受
- 疾患の早期発見と紹介を通じた早期治療により、患者の負担・医療費を大幅削減



当社のスクリーニング機器 + プラットフォーム + AI により実現

※FDA承認が必要
※日本においては 医師不在の眼鏡店等は対象外



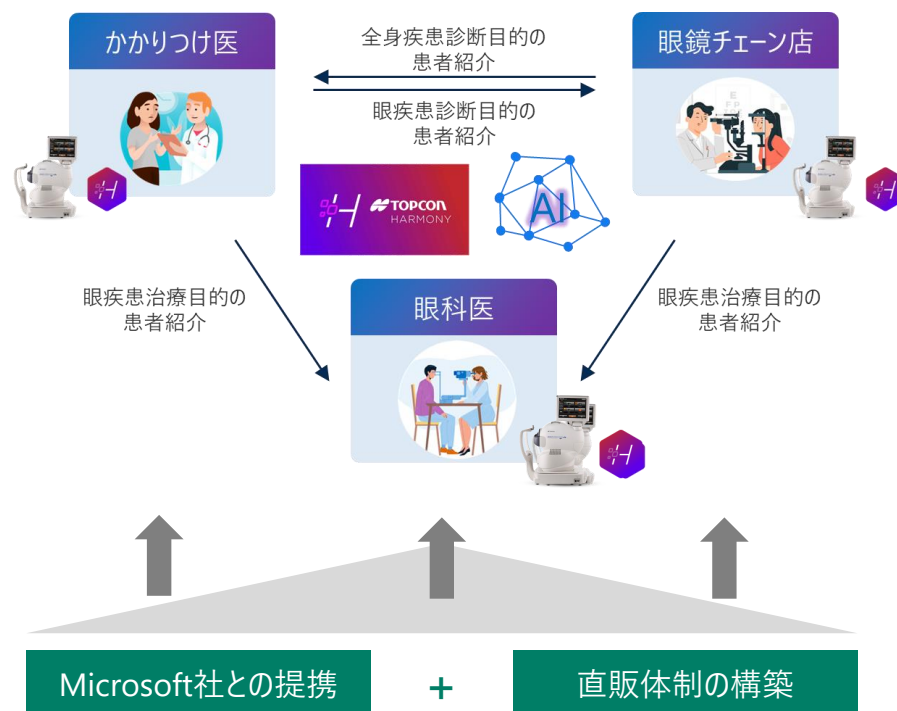
アイケア事業 | “Healthcare from the Eye”の推進 (2/3)

DX加速

- 北米の直販体制を構築、眼鏡チェーン店に加え眼科医に向けて事業構想をプロモーション
- 全米最大の眼科学会(AAO)で眼科専門医からも高評価

販売力強化

学会・展示会



眼科専門医向け学会
米国眼科学会AAO (シカゴ、24年10月)



オプトメトリー向け展示会
Vision Expo West (ラスベガス、24年9月)





アイケア事業 | “Healthcare from the Eye”の推進 (3/3)

DX加速

- Maestro2のOCT-Angiography撮影機能、米国FDAの認証取得（2024年8月）

→ 北米での当社スクリーニング機器の普及加速へ

ソリューション展開

米国でFDA認証を取得

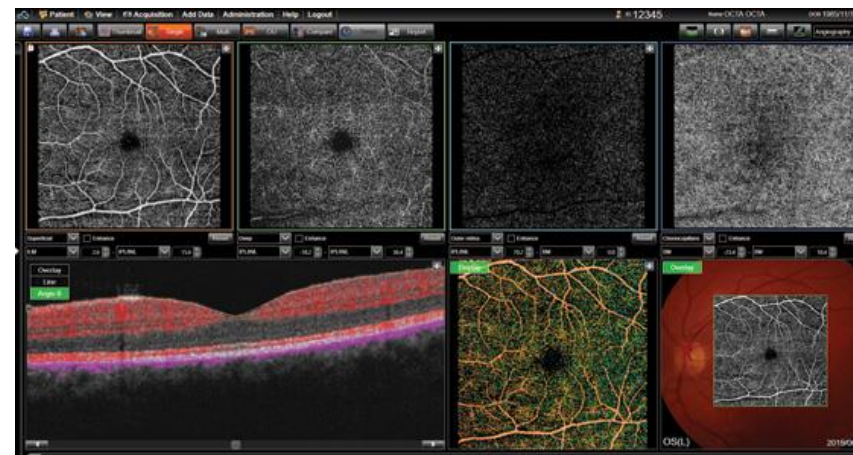
- 米国初・唯一のOCT-Angiography撮影機能搭載のフルオートOCT



Maestro 2
三次元眼底像撮影装置

OCT-Angiography撮影機能とは

- 薬剤を注射せず血管を可視化できる非侵襲検査
- 患者の負担を軽減し、疾患の早期発見に貢献



眼鏡チェーン店・眼科医を含めてユーザー層の裾野を拡大

まとめ

04

- FY2024 第2四半期決算発表のまとめ

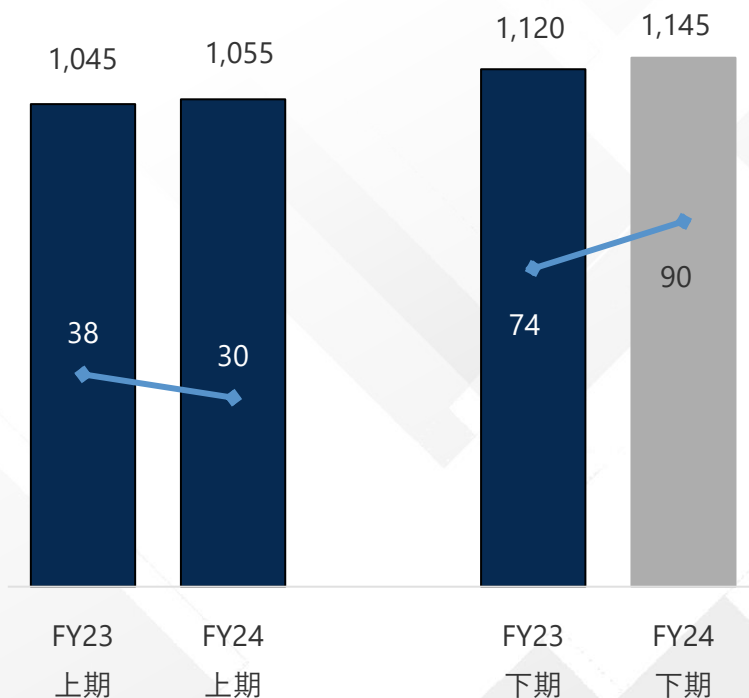
FY2024 第2四半期決算発表のまとめ



連結（通期）

売上高 **2,200億円** 前年度比 +2%営業利益 **120億円** 前年度比 +7%

売上高 
営業利益 
(単位：億円)



通期見通しを下方修正

- ✓ 下期は増収増益を見込むも、低水準に推移した上期分の挽回には至らず下方修正

ポジショニング事業

- ✓ IT農業中心に引き続き厳しい事業環境が予想されるものの、新製品投入等による販売テコ入れと構造改革によるコスト抑制に努め増益を見込む

アイケア事業

- ✓ 成長投資を継続しつつも収益性は計画通り改善

世界を丸く。



尖ったDXで、

参考資料

05

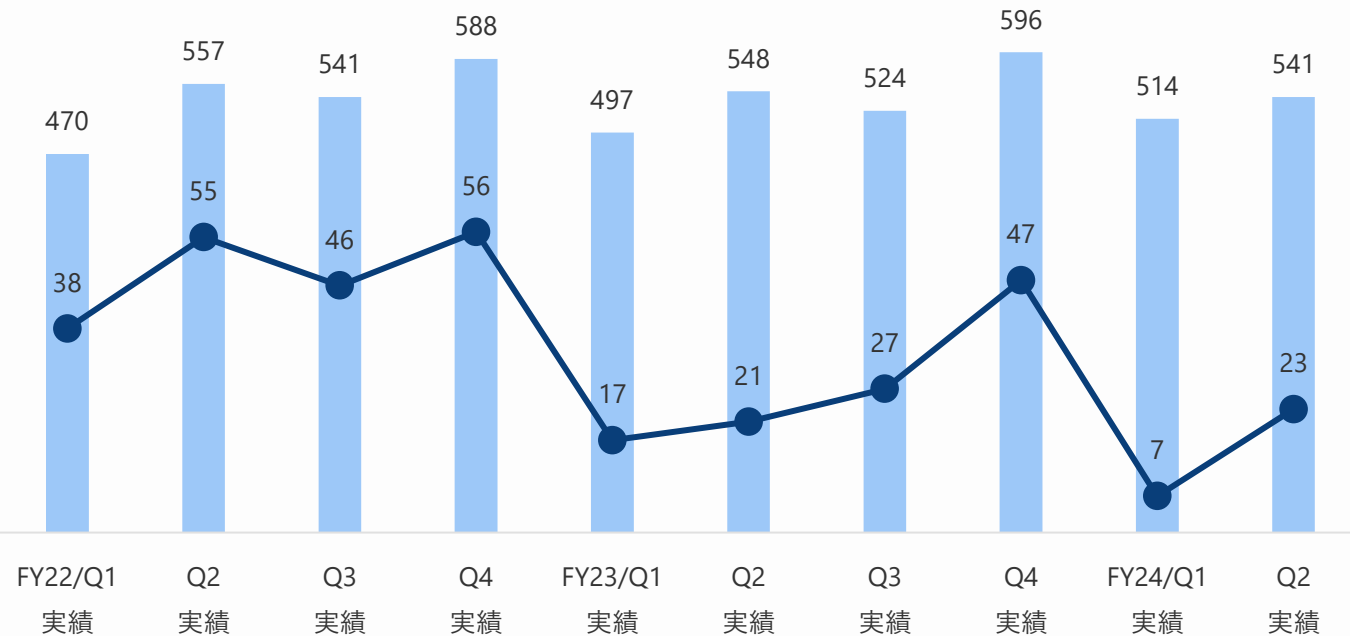
- 業績推移
- 地域別売上高
- 設備投資・減価償却費・研究開発費 / 為替感応度
- 統合報告書「TOPCON REPORT 2024」を発行



四半期

(単位：億円)

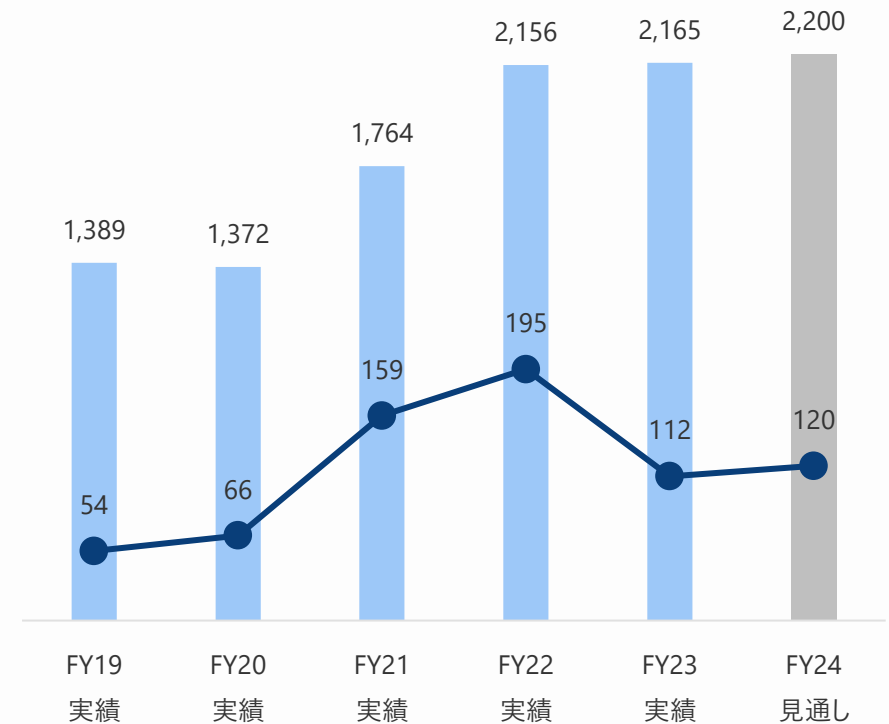
売上高 営業利益



通期

(単位：億円)

売上高 営業利益

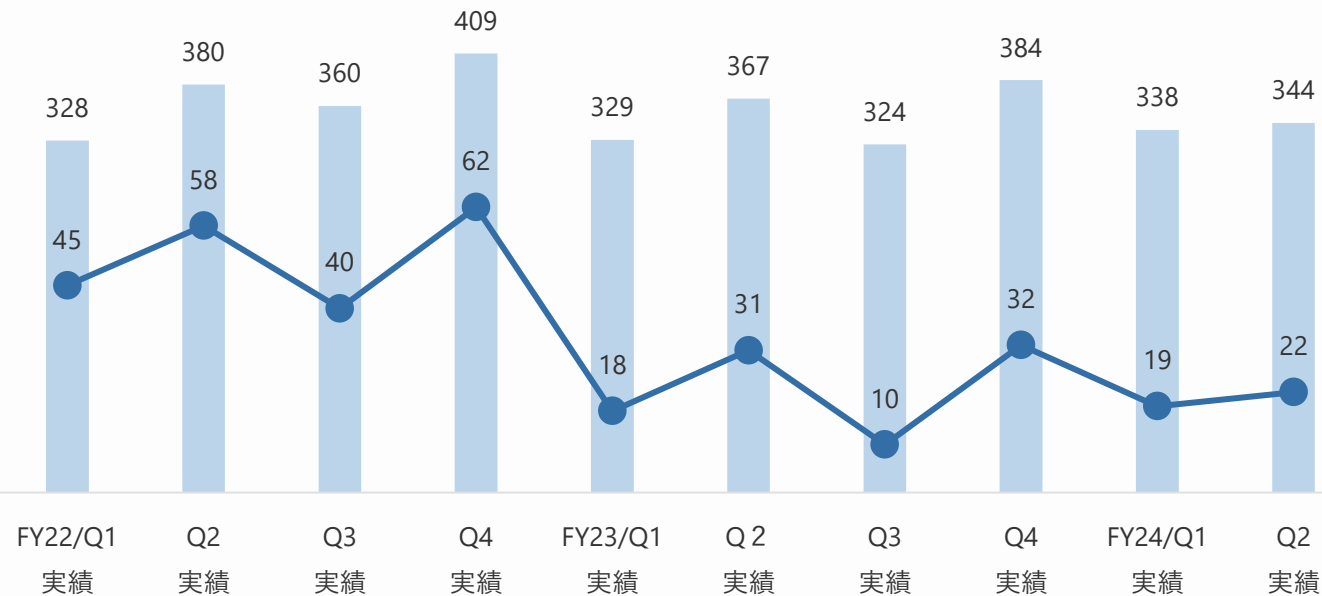




四半期

(単位：億円)

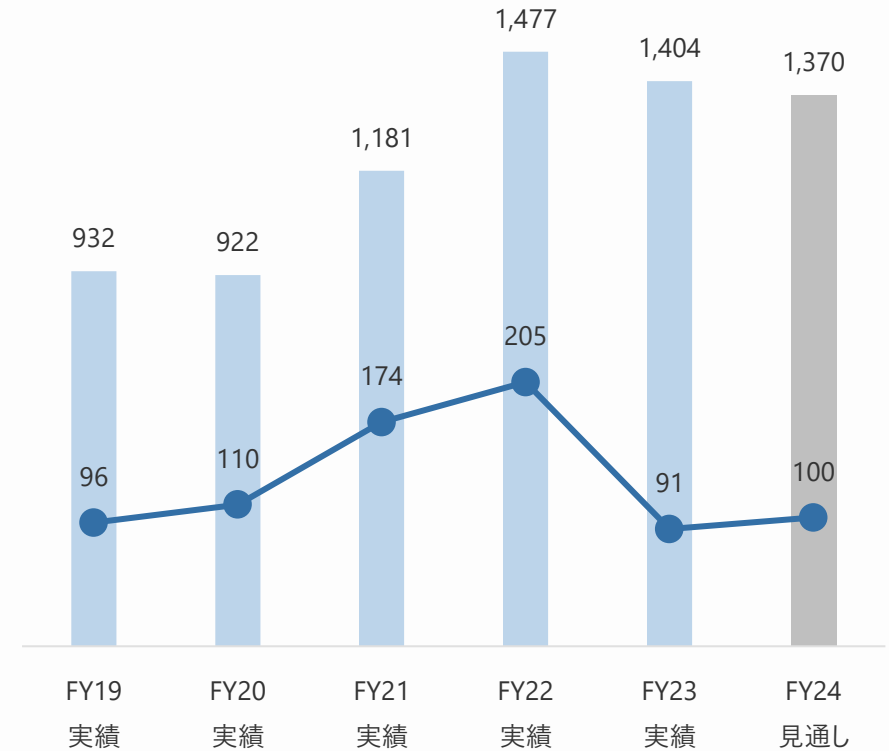
売上高 営業利益



通期

(単位：億円)

売上高 営業利益

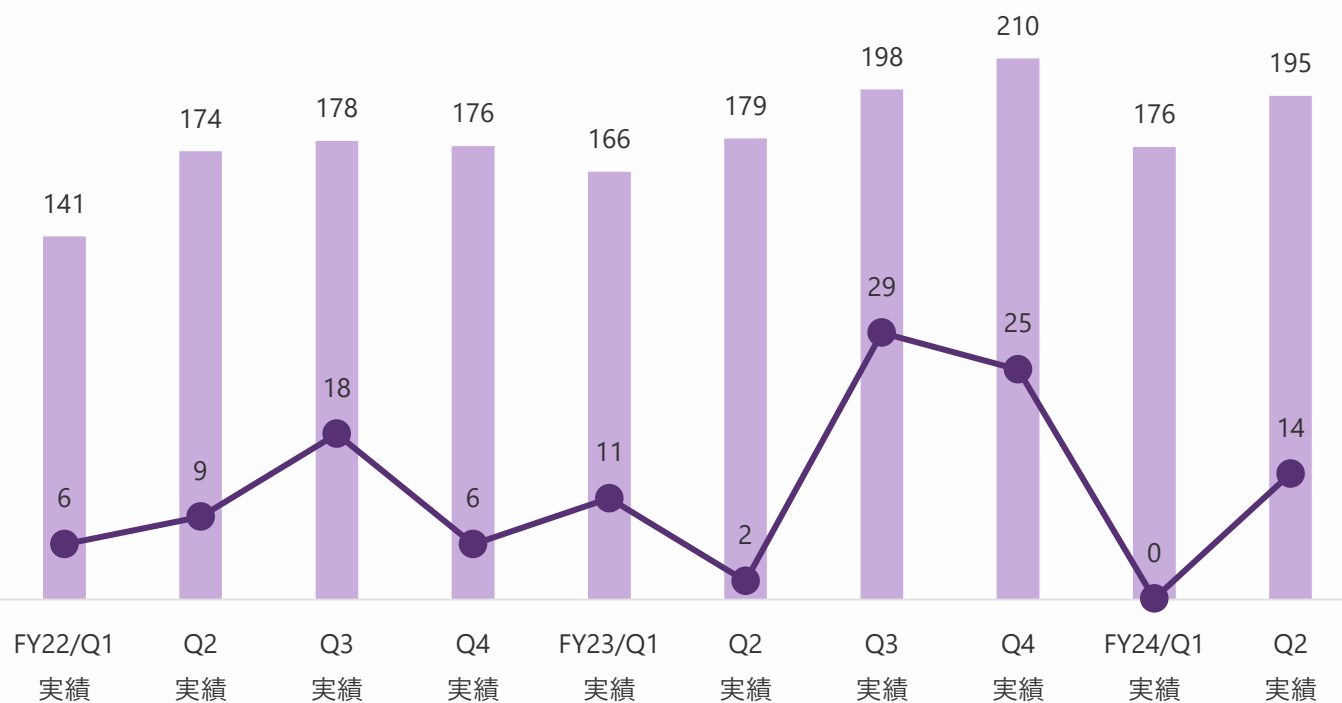




四半期

(単位：億円)

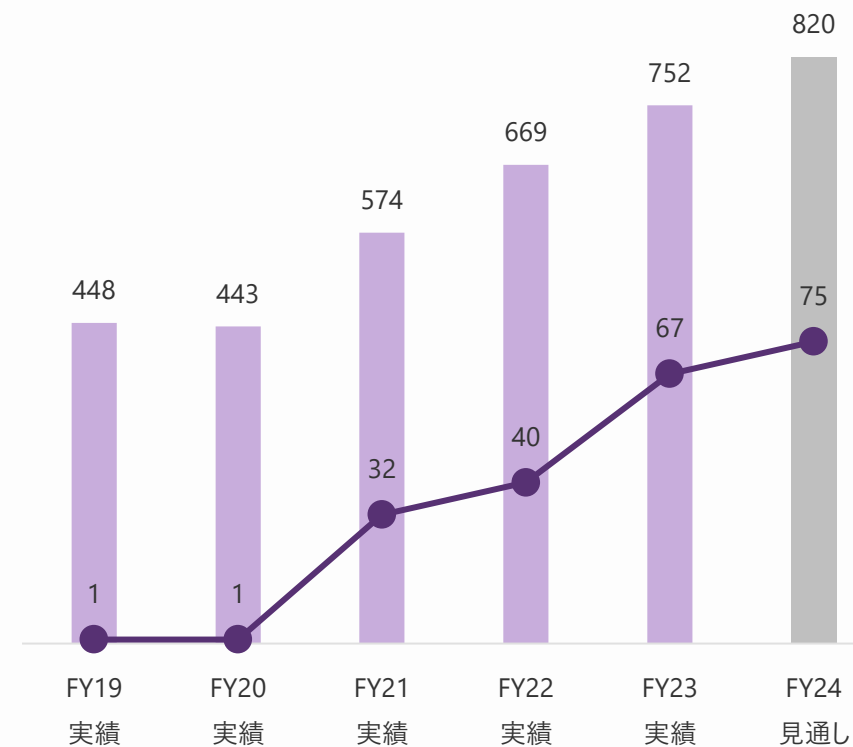
売上高 営業利益

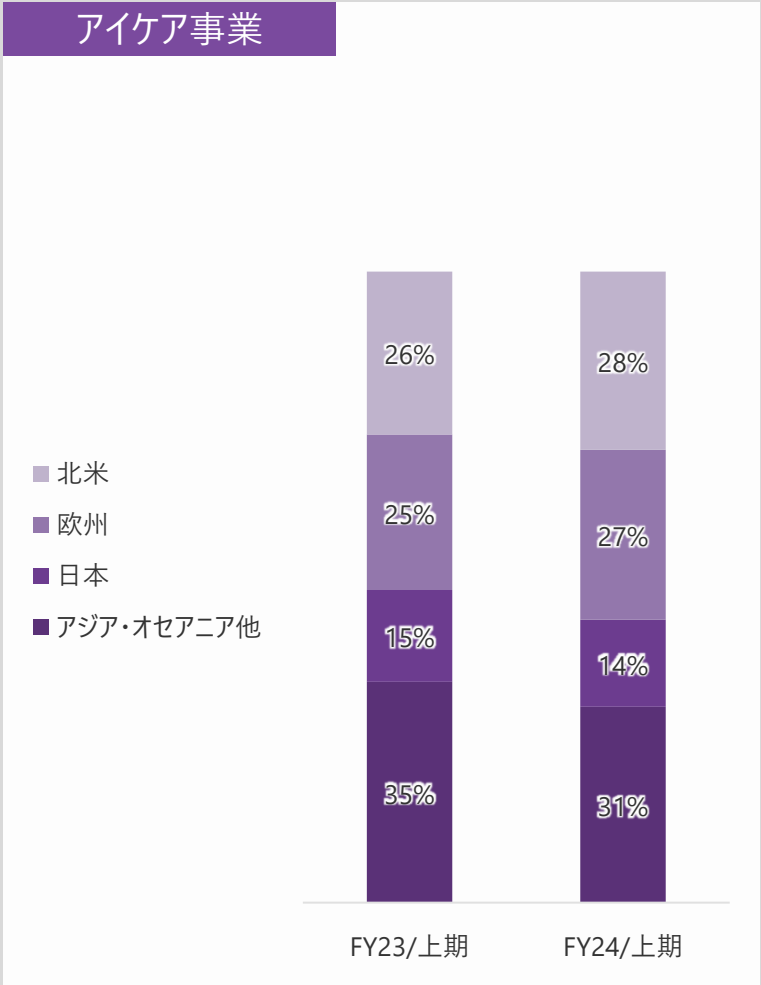
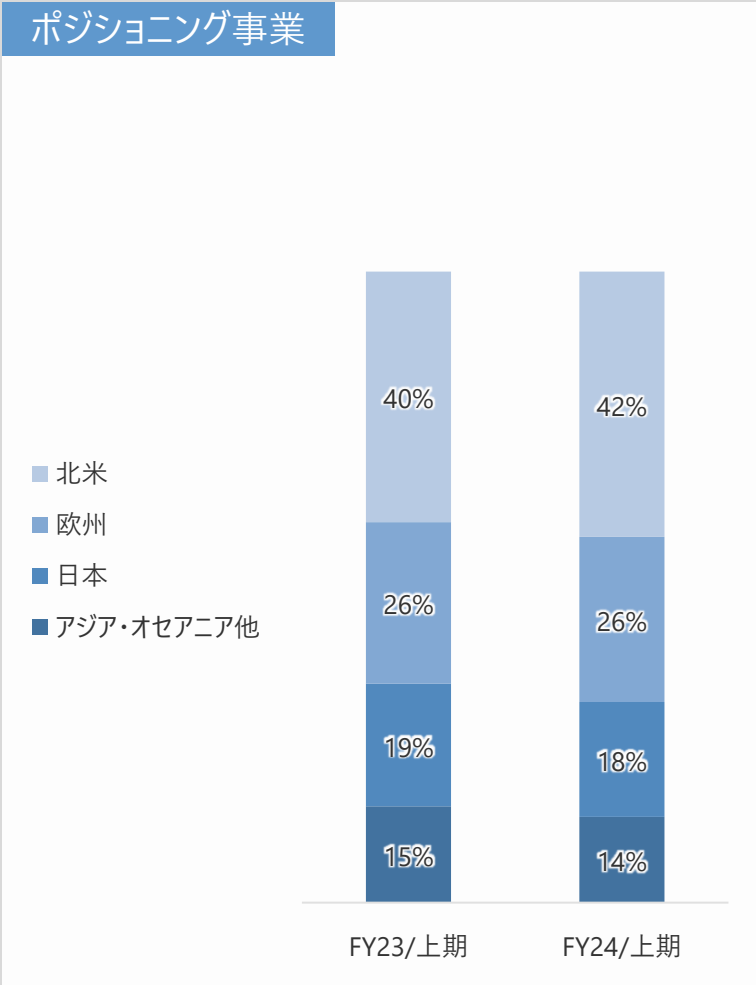
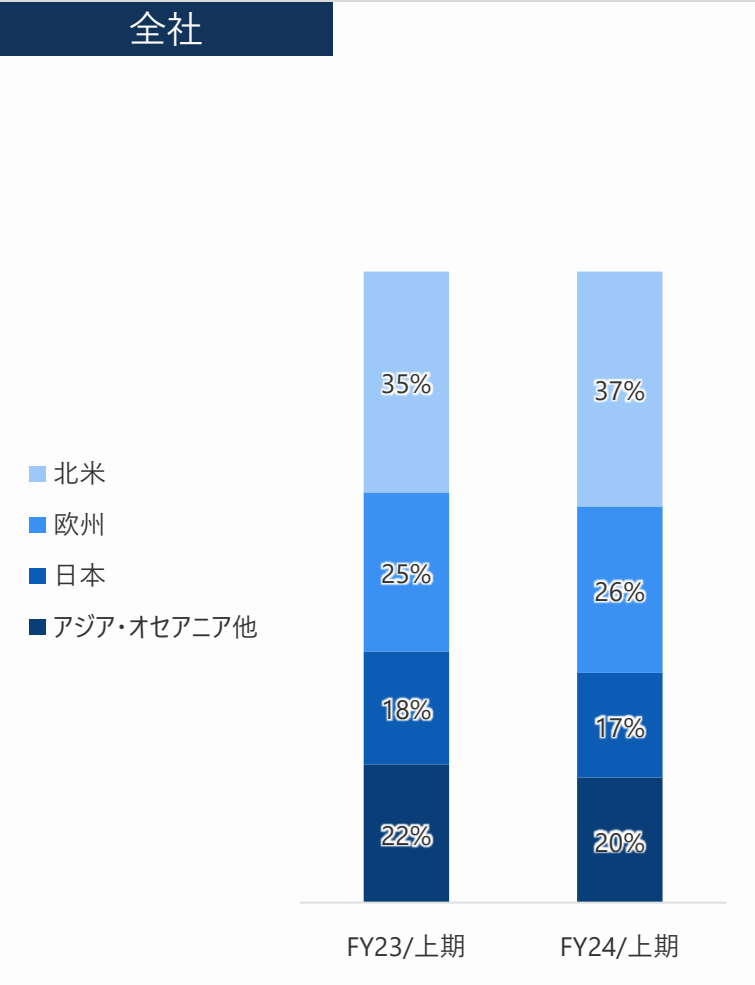


通期

(単位：億円)

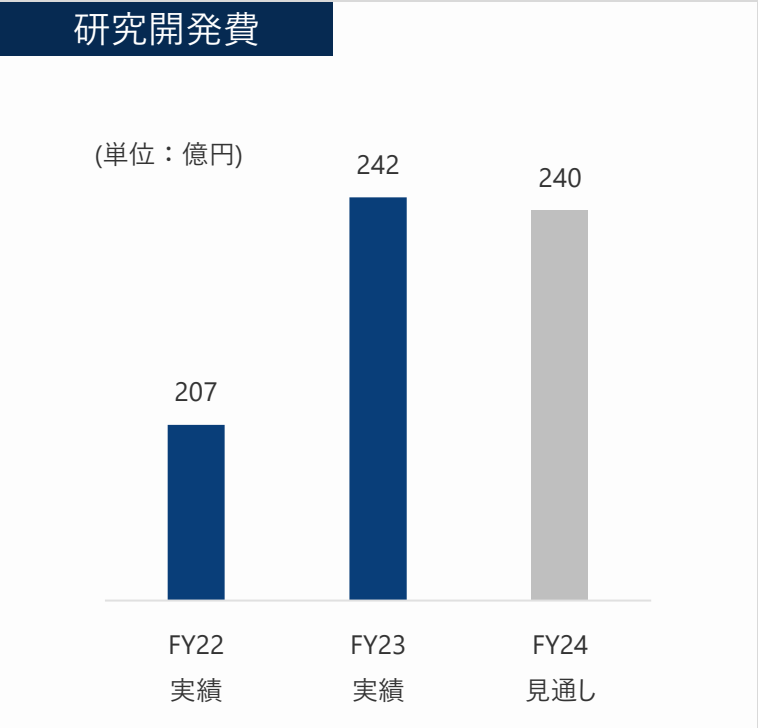
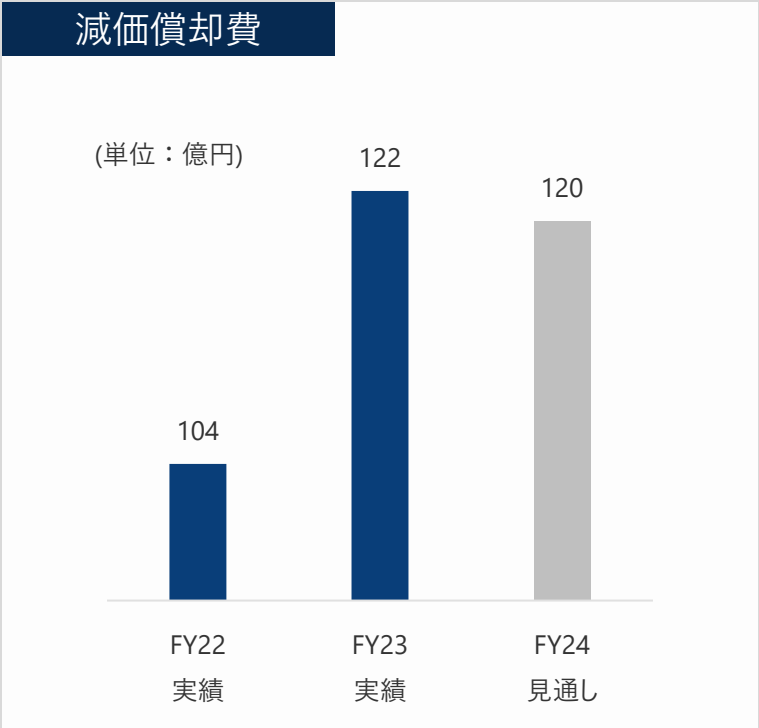
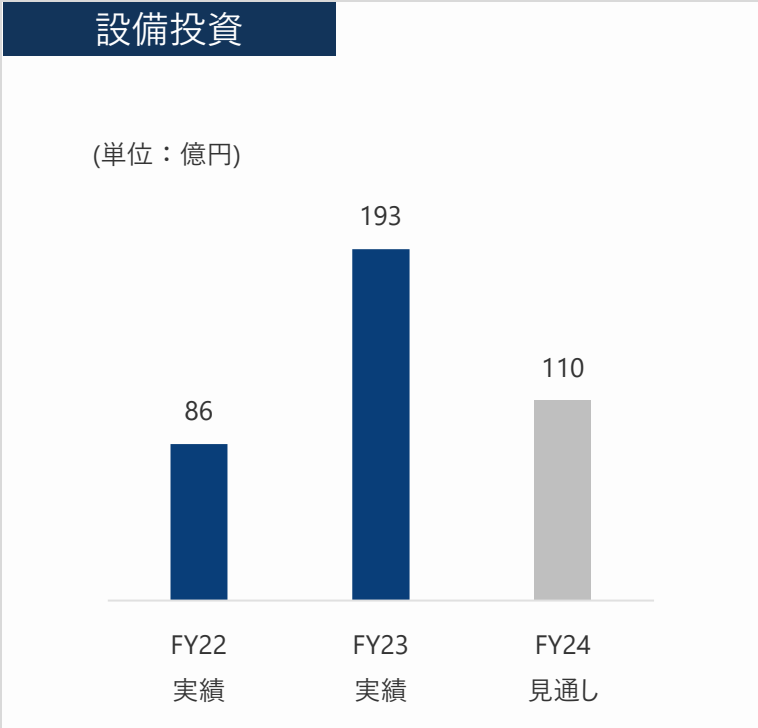
売上高 営業利益







設備投資・減価償却費・研究開発費 / 為替感応度



為替感応度		(1円の変動による影響額)
		営業利益
USD		1.5～2億円
EUR		0.7～1億円

統合報告書「TOPCON REPORT 2024」を発行①



■ 表紙



<https://www.topcon.co.jp/invest/library/integration/>

■ 価値創造ページより抜粋



統合報告書「TOPCON REPORT 2024」を発行②



■ サステナビリティページより抜粋

事業を通じた環境への貢献

「いぶき2号」を通じて、 温室効果ガス排出量削減目標達成に貢献

世界初の温室効果ガス観測の専用衛星「いぶき (GOSAT)」(2018年10月29日打ち上げ)の後継機「いぶき2号 (GOSAT-2)」にトプコンの光学ユニットが搭載されています。この衛星は、地球上の温室効果ガスや微粒子状物質(PM2.5)の濃度観測を目的とし、現在も運用が続いており、2023年10月には運用開始5周年を記念しJAXA(宇宙航空研究開発機構)より感謝状を贈呈いただきました。



引用「温室効果ガス観測技術衛星2号(GOSAT-2)に関する感謝状贈呈について」(JAXA)



マテリアリティ

- 技術革新による
独創的な製品の提供

Web Link



環境への負荷低減のための農業自動化

アイルランドの大規模ジャガイモ農場では、生産性を維持しながら農業などの化学物質を減らすことが課題でした。そこで、トプコンの「レーザー式生育センサー」を活用し、継続的に調査・分析。肥料や農薬の量に起因する土壌の変化とジャガイモの生育度合いの相関関係を割り出し、過剰な化学物質の削減に成功しました。肥料の最適化で、農作には向いていなかった土地も耕作も可能になり収穫量は増加。自動操舵システムにより、CO₂の削減にもつながっています。



マテリアリティ

- DXソリューションの推進
と加速
- 地球環境への負荷低減

Web Link



地域にも環境にもやさしい道路工事を実現

ノルウェーの国道改良工事において、当社の施工管理ソリューションが採用されました。この国道は従来のルートを大幅に短縮し、交通の安全性や利便性を向上させる重要な工事であると同時に、国道周辺には自然が多く残っているため、野生動物専用の横断歩道を設置するなど環境への配慮も求められました。

当社のソリューションは複雑な条件に対応し、3ヶ月の工期短縮や2割の予算削減、効率的な施工によりCO₂排出量の削減も実現。環境に配慮した建設工事の効率化を実現し、地域振興にも貢献しました。



マテリアリティ

- DXソリューションの推進
と加速
- 地球環境への負荷低減

Web Link



ソーラーパネル施設の基礎設置に貢献

近年、地球温暖化対策として再生可能エネルギーの利用が進むなか、大規模なメガソーラー発電施設の建設が進んでいます。しかし、ソーラーパネル設置の際には、座標値が不足している場合が多く、建設業者にとって、作業スピードとコストに課題が生じることがあります。当社の製品を活用いただくことで、これらの課題解決に寄与し、位置出しのスピードは、従来法に比べ10倍にまで向上しました。



マテリアリティ

- 地球環境への負荷低減

Web Link



免責事項

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたいお願い致します。

お問合せ先	株式会社トプコン 経営推進本部 広報・IR部
TEL	: 03-3558-2532
E-mail	: investor_info@topcon.co.jp
URL	: https://www.topcon.co.jp